

クラスの団結力がアップ↑ ～栃木県立黒磯高等学校～

① 実施までの経緯

PTAは学校支援と共に自分たちの自主的な学びの集団であり、事業としてその学びの機会を計画している。今年度、「家庭教育とPTA」というテーマで、思春期の子どもとの関わり方を学ぶ場として保護者学習会を新たに行事に加えることとなった。

② 企画者 PTA担当、1学年主任

③ 参加者 第1学年保護者 約120名

④ 実施機会 「進路説明会」の機会を活用

⑤ 当日の流れ

(実施日：平成23年6月28日(火)14:45～)

進路ガイダンス (30分)

体育館にて、進路指導部から説明

↓ 保護者は各クラスへ移動

保護者学習会 (75分)

↓

クラス懇談会 (30分)：担任との懇談会

⑥ プログラム

テーマ「我が子は思春期真っ只中！」

～思春期の子育ては戸惑いや悩みの連続です～

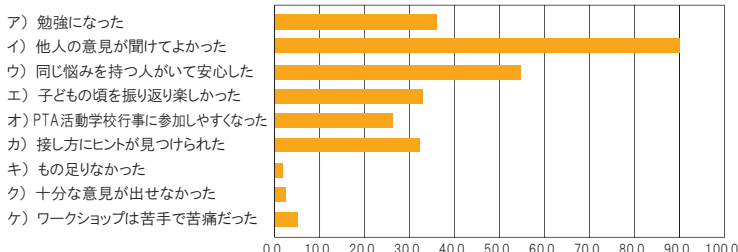
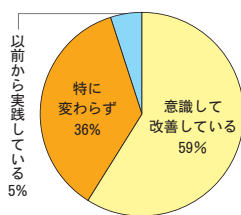
ファシリテーター

生涯学習課・教育事務所社会教育主事5名

⑦ 事後アンケート

当日の話合いで出た保護者からの意見を「思春期の子を持つ親の心得20箇条」としてまとめ、PTA新聞号外で全家庭に配信した。このことは、当日参加できなかった保護者への啓発にもつながった。また、後日、参加者に事後アンケートを実施したところ、以下のよう
な結果が得られた。

親の心得20条の実践



ホールだって、話し合えます ～栃木県立宇都宮南高等学校～

① 実施までの経緯

本校は「地域や保護者に開かれた学校」そして「健やかな人間関係の育成」を目的とし、一昨年から3カ年にわたり、生涯学習課と連携し、研修を実施してきた。1年目は1学年の生徒を、2年目は教職員を、そして今年度は保護者を対象として行った。高校は、県内各地域から生徒が集まる特性をもつが故に、小中学校に比べると、保護者同士の連携や絆が希薄になる傾向が大きく、思春期の子どもに対する悩みや不安などの想いを家庭内で抱えてしまう家庭も多いと考え、保護者同士の交流、そして情報を交換できる場が必要との認識から、本研修をPTA学年部会後、クラス懇談会の時間を充てて企画した。



② 企画者 生涯学習担当、1学年主任、2学年主任

③ 参加者 第1学年保護者 約120名
第2学年保護者 約250名

④ 実施機会 「PTA学年会講演会」の機会を活用

⑤ 当日の流れ

(実施日：平成23年9月27日(火)14:00～、会場：宇都宮市立南図書館)

1学年会 (60分)：学年主任からの話

↓

講演会 ① (50分、1学年保護者対象)

↓

保護者入れ替え (40分)

↓

講演会 ② (50分、2学年保護者対象)

↓

2学年会 (60分)：学年主任からの話

⑥ プログラム

① テーマ「我が子は思春期真っ只中！」

～思春期の子育ては戸惑いや悩みの連続です～

② テーマ「我が子の進路とどう向き合っていますか？」

ファシリテーター ①生涯学習課 佐山社会教育主事

②生涯学習課 白井社会教育主事

⑦ 保護者の声

子どもの進路は子どもが決めるのだと改めて思いました。しかし、もう少し上手に声かけしていくことが大切なんだなと思いました。